

インターナショナル新書

独学の教室

定価:946円(10%税込)

体裁:新書判/240ページ

発行:集英社インターナショナル(発売:集英社)

ISBN:978-4-7976-8107-9

『独学大全』が話題の

読書猿をはじめ、各界屈指の
独学者14名が登場!



8月5日(金) 発売

読書猿	独学者を阻む薄い壁	永江朗	独学本のススメ
吉田武	数学者による「独学とは再帰なり」	佐藤優	記憶を再現するためのノート術
ウスビ・サコ	自力で学ぶ「自学」のすすめ	柳川範之	苦しい学びは続かない
澤井康佑	独学最強の英語学習法	石塚真一	独学のサクスペーラーを描く
鎌田敬介	「仕事人」をとりまく独学環境	岡部恒治	社会人のための数学独学法
志村真幸	独習者、南方熊楠の驚異の記憶力	深川峻太郎	なぜ相対性理論を独学したのか
青い日記帳	いちばんやさしい美術鑑賞独学術	角幡唯介	冒険と独学

なぜ我々は学びたいのか? デジタルツールの進化により、あらゆる知識が瞬時に引き出せる今、学ぶことに意味はあるのか? さまざまな独学のスタイルを考え、学びの魅力と意味を探る!

雑誌「kotoba」(集英社刊)の特集「独学の愉しみ」(2021年12月刊)が、新書になって再登場。

—「はじめに」より抜粋

2020年の春以降、新型コロナウイルスが猛威を振るうなか、集団での行動は制限され、必然的に「独り」でいることが多くなりました。そんな状況で、読書や映画鑑賞、YouTube への動画投稿や、個人で練習できる楽器演奏を始めるなど、新しい活動にチャレンジする人が増えたと聞きます。奇しくも、自粛生活は「独学」に向いていたのです。

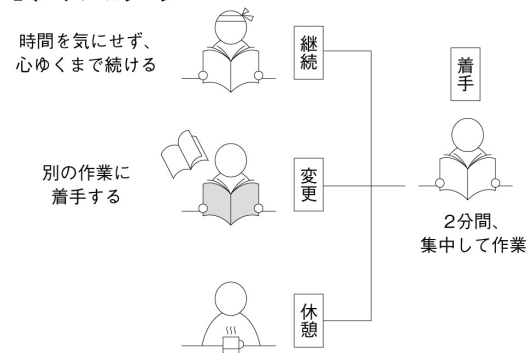
そこで浮かんでくるのは「なぜ自分で学びたいのか」という疑問です。デジタルツールの進化により、あらゆる知識やコンテンツが瞬時に引き出せる今、はたして自力で学ぶことに意味はあるのでしょうか？

本書を読まれた後なら、この問いにきっと「YES」と断言していただけるかと思います。

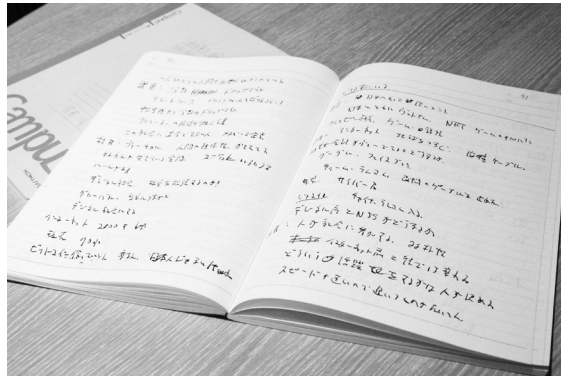
本書には、独学の意義と方法から、英語、ビジネス、美術、読書、ノート術、漫画、数学、物理学、はては冒険まで、14人の独学者による多彩な寄稿をまとめています。すでに独学を実践されている方から、これから独学を始めようとしている方まで、きっと独学の指標・参考になることでしょう。

やる気が出ない…そんな時は
読書猿のおすすめ
「2 ミニッツ・スターター」

2ミニッツ・スターター



学んだのにすぐ忘れちゃう…
という人には
佐藤優式「記憶を再現するノート術」



※ぜひ貴媒体にてご紹介をご検討いただけますと幸いです。
書影、著者インタビュー等、以下までお問い合わせください。

【本書のお問い合わせ・取材申込先】

編集担当：集英社インターナショナル 出版部

電話 03-5211-2630 公式サイト <https://www.shueisha-int.co.jp/>